

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

〈注意事項〉

1. 問題冊子・解答用紙では試験科目名を以下のとおり表記している。

科 目 名	表 記	ページ	科 目 名	表 記	ページ
公共, 政治・経済	政治・経済	2～21	歴史総合, 日本史探究	日 本 史	22～38
歴史総合, 世界史探究	世 界 史	40～55	地理総合, 地理探究	地 理	56～65
数学I・II, 数学A・B・C	数 学	66～71			

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - 解答を導く途中経過も書くこと。
 - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

7. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ユーラシア大陸の中央に位置し、東西を架橋する広大な領域を中央ユーラシアと呼ぶ。現在においては、モンゴル、カザフスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン、キルギス(クルグズスタン)、中国の内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区、チベット自治区、南ロシア、黒海北岸地域などがこの領域に相当する。

中央ユーラシアをめぐる国境線は、近世以降、ロシア、中国と深く関わりながら形作られてきた面が大きい。⁽¹⁾しかし、中央ユーラシアは、それ以前からユーラシアの東西南北を結ぶ広大な領域のなかで、さまざまな国家の興亡、民族の移動や形成、宗教の伝播と融合、多彩な物資の流通が繰り返されてきた歴史を持つ。

その主役となったのは中央ユーラシア北方の草原地帯で季節的に移動し牧畜の生活を行う遊牧民と、南方の砂漠・オアシスを拠点とする定住民である。草原地帯では前15世紀ごろから騎馬がはじまったとされ、前9～8世紀ごろに騎馬の技術と軍事力に優れた騎馬遊牧民の社会が形成された。彼らは遊牧国家を誕生させ、ユーラシアの東西を結ぶ交易や文化交流に貢献したが、この交易ルートは「草原の道」と呼ばれる。

文献上にあらわれる最初の遊牧国家とされるのが、前7世紀ごろ南ロシアの草原地帯を支配した である。 の文化の特徴は、特有の動物文様をもつ馬具や武器であり、アケメネス朝ペルシアやマケドニアに対抗したが、前3世紀ごろに滅んだ。中央ユーラシア東部においても騎馬遊牧民の活動が活発化した。天山山脈北方からイリ方面において、前2世紀後半に勃興し、のち漢の武帝の時代に漢との結びつきを強めたトルコ系とされる 、甘粛・タリム盆地方面に展開したイラン系とされる 、モンゴル高原東部において強勢をふるった狩猟・遊牧民の などである。なかでも前3世紀末に台頭した は強力であり、君主 の時代には を討って

服属させ、前200年には漢の高祖(劉邦)をも破るなど、広大な版図を手中に収める遊牧国家となった。しかし、E はその後、漢の武帝による度重なる討伐と西域進出を受けて衰退して、前1世紀なかごろ分裂した。分裂国のうち、(I) は、呼韓邪単于が漢に援助をもとめて入朝し、服属した。

他方、中央ユーラシア南方の乾燥した砂漠・草原地帯のなかでも、河川や地下水を利用できる地に、古くから定住民の生活が行われていた。都市部と灌漑による集約的な農業が営まれる農村部からなる、独立した生活・経済圏としてのオアシス都市が形成されたのである。オアシス都市は手工業生産や隊商交易の拠点として発展し、パミール高原西部のソグド人の本拠地ソグディアナの2，3をはじめ、パミール高原東部などに多数のオアシス都市が生まれた。隊商がユーラシア東西を結んで往来するルートが「オアシスの道」と呼ばれる。

⁽²⁾オアシス都市は連合して強大な国家を形成しなかったため、東西の大国の支配を受けることが多かった。また、軍事力で遊牧国家に劣るため、北方の遊牧民による略奪や侵攻をしばしば受けた。しかし、北方の遊牧国家にとってもオアシス都市の資源・生産物や東西交易の利益は重要であり、オアシス都市にとっても、遊牧民のもたらす畜産物や隊商路の安全は必要であり、両者はある種の共存関係にあった。

オアシスの道の近傍には、前3世紀ごろ、パミール高原西側に(II)，その南西にギリシア系のバクトリア王国があった。(II) が産地であった汗血馬は漢の武帝の大きな関心を引いたことでも有名である。前2世紀はじめ、E に敗れて西方に移動し、さらにB にも追いやられたC は、ソグディアナに逃れて(III) を名乗り、バクトリア地方に進出して大夏(トハラ)を征服した。

中央ユーラシア東部の遊牧国家も紀元後には大きな再編が起こった。(I) が1世紀なかばに分裂し、後漢に服属しなかった(IV) は、同時期に台頭してきた4 などの攻撃を受けてモンゴル高原を追われた。4～5世紀に中央ユーラシアからヨーロッパへ西進したフン人は(IV) の一部を含むとする説がある。2世紀半ばからモンゴル高原を支配した4 など、いわゆる「五胡」と呼ばれた勢力が徐々に華北に南下し、晋の崩壊後、遊牧民のた

⁽³⁾

世界史

てた国が興亡を繰り返した。

4 が南下したあとのモンゴル高原では、5世紀に (V) が勢力を伸ばして君主は可汗を称し、 B を西方へと追いやったが、 (V) に服属していたトルコ系騎馬遊牧民の 5 に6世紀なかばに滅ぼされた。トルコ系遊牧民は前3世紀ごろ、モンゴル高原北部に あ が勢力を伸ばし、4世紀にはその後身が (V) から自立し、勢力を拡大していた。5 はその後進の一派とされる。バクトリア地方では、5世紀半ばに遊牧国家エフタルが進出したが、西方ではササン朝、東方では 5 に挟撃され、6世紀後半に滅んだ。

5 は東西ユーラシアにまたがる広大な遊牧帝国となり、ソグド人を交易・外交で活用してササン朝、東ローマ帝国と関係を持った。しかし、部族連合国家だった 5 は30年後には分裂し、東 5 は630年に唐に降伏した。その後、682年に帝国を再建し、遊牧民族最古の文字を残すなど栄えたが、744年にトルコ系遊牧民が建国した い に翌年滅ぼされた。 い はその後、同じトルコ系のキルギスに840年に滅ぼされたが、その後西方に移動した一派はソグディアナに定着していく。トルコ系の西方への進出はこれらの動きが大きな契機となり、中央アジアのオアシス住民のトルコ化が進展していった。他方、西方では、ソグディアナで自立した中央アジア最初のイスラーム政権である う が875年に誕生し、 3 はその都として栄えた。

その後も中央ユーラシア東方では遊牧国家の興亡が続いたが、13世紀には遊牧民の軍事力・政治力とオアシス定住民の経済力がもっとも効果的に結びつき、中央ユーラシアを統一する⁽⁴⁾モンゴル帝国が誕生する。その際、勢力拡大の過程で、オアシス都市の⁽⁵⁾ 2 と 3 は破壊された。しかし、両都市はその後、ティムールによって再建され、 2 はティムール朝の最初の都として栄えた。

問1 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|---------|-------|
| a 安息 | b 伊吾 | c 烏孫 |
| d 烏桓 | e オルドス | f 匈奴 |
| g 月氏 | h サルマタイ | i 条支国 |
| j スキタイ | k 大越 | l 大理国 |
| m 東胡 | n 南越 | o 林邑 |

問2 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-------|-------------|-------|
| a 環王 | b 北匈奴 | c 高車 |
| d 高昌 | e 車師 | f 柔然 |
| g 占城 | h 大宛(フェルガナ) | i 大月氏 |
| j 大食 | k 鉄勒 | l 西匈奴 |
| m 東匈奴 | n 靺鞨 | o 南匈奴 |
| p 遼 | | |

問3 空欄 ～ にもっとも適した語句を解答欄に記述せよ。
 なお, は漢字で記述すること。

問4 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| a イフシード朝 | b ウイグル | c カラハン朝 |
| d サーマーン朝 | e セルジューク朝 | f 丁零 |
| g 吐蕃 | h 吐蕃渾 | i 南詔 |

世界史

問5 下線部(1)に関して、次のア～カのうち、中央ユーラシアにおける国境線の画定をめぐる出来事が起こった年を、古い順に並べて3番目になるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア イリ条約の締結
- イ キャフタ条約の締結
- ウ ダライ=ラマ13世によるチベット独立の宣言
- エ ネルチンスク条約の締結
- オ モンゴル人民共和国の成立
- カ ロシアによるコーカンド=ハン国の併合

問6 下線部(2)に関して、次のア～オのうち、「オアシスの道」に形成されたオアシス都市でないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア カシュガル(疏勒)
- イ クチャ(亀茲)
- ウ 敦煌
- エ ホータン(于闐)
- オ ラサ

問7 下線部(3)に関して、次のア～カのうち、五胡の羯・羌・氐の勢力が建国した国名の組み合わせとして正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 羯-後趙
- イ 羯-北周
- ウ 羌-北魏
- エ 羌-漢(前趙)
- オ 氐-北齊
- カ 氐-後秦

問8 下線部(4)に関して、次のア～オのうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア モンゴル高原で勢力を伸ばしたキタイ(契丹)は後唐の建国を援助してその代償として936年、燕雲十六州を割譲させた。

イ 宋の西方ではチベット系のタングート人が陝西・甘肅地方で勢力を伸ばし、李時珍が皇帝を称した。

ウ キタイ(契丹)の支配下にあった女真人が完顔阿骨打を指導者として金を建国し、1125年に北宋を滅ぼした。

エ キタイ(契丹)と金はともに、支配下の遊牧民・狩猟民と華北の農耕民とをわけて統治し、後者には州県制を維持する二重統治体制をとった。

オ 遼の滅亡直前に遼の王族であった耶律大石が中央アジアにのがれ、カラハン朝を倒して西夏を建国した。

問9 下線部(5)に関して、次のア～オのうち、モンゴル帝国下での各地域の結びつきの高まりに関する内容として誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア モンゴル帝国は早くから交通路・通信の整備につとめ、チンギス=ハンによってジャムチの名で駅伝制が導入された。

イ フビライ(クビライ)は大都から大運河・渤海湾へとつながる水運路をひらき、大都は海路で江南を経て東南アジア・インド洋と結ばれた。

ウ 遠距離の商業において、陸上で活躍したのがウイグル商人、海上がイラン系のムスリム商人であった。

エ 通貨は銀が帝国全域で基本となり、補助として銅銭が発行されて広く流通した。

オ ローマ教皇インノケンティウス4世によって派遣されたプラノ=カルピニヤルイ9世の使者ルブルックがカラコルムのモンゴル宮廷を訪れ、モンテ=コルヴィノは大都のカトリック司教となった。

世界史

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

朝鮮半島においては、大きな勢力を持った国々が4世紀半ばから7世紀後半に⁽¹⁾かけて争う時代が長く続いた。しかし、7世紀後半に新羅が唐と同盟を結び、ほかの国々を滅ぼして朝鮮半島を統一した。

10世紀に王建が建国した高麗は新羅を滅ぼし、科挙と官僚制度を整備した。しかし、12世紀後半になると、武人が政権を握ることとなった。13世紀には、モンゴルの侵略をうけ、抵抗した武人政権はモンゴル撃退と国家安寧を祈願して、版木が8万枚余りもある高麗版 を再彫したが敗北し、13世紀後半に高麗はモンゴルに服属することを余儀なくされた。さらに、14世紀末には、朝鮮半島から中国沿海地方まで広範囲な地域で海賊として活動していた に攻められるなど、朝鮮半島を取り巻く国際的な環境に大きな変化が生じ、高麗は衰退していった。そのなかで、高麗の武臣であった は、 を撃退して武功を立てて中央政権に進出し、名声を高めていった。 は衰退していた高麗を倒して、新しく朝鮮王朝を建国した。朝鮮王朝は、明と朝貢関係を結び、統治理念として朱子学を受容し、科挙を整備して と呼ばれる有力な家柄の官僚による支配体制を確立していった。

15世紀前半には、第4代国王である世宗によって と呼ばれる独自の表音文字が創設された。また、13世紀に造られていた による印刷が実用化された。しかし、外交的には16世紀末に大きな危機を迎える。

日本を統一した豊臣秀吉が、さらに領土を広げるために朝鮮に侵攻し、戦乱が起こった。この戦乱を朝鮮では と呼ぶ。しかし、明の援軍や が率いる水軍、自ら義兵と称する民兵たちが激しく抵抗をした。秀吉の朝鮮侵攻で被害を受けた朝鮮王朝は、朝貢＝冊封関係にあった明の救援を受けたが、明もこの戦争で国力を失い、清の侵攻によって滅亡した。朝鮮はその後、清への朝貢国となったが、北方民族の王朝の清への反発から、朝鮮が中華文明を唯一継承し、守護しているという小中華意識が強まった。

豊臣秀吉の朝鮮侵攻の後、朝鮮と途切れていた貿易が復活したのは、江戸幕府が成立してからである。朝鮮との交易は宗氏が支配する を通じて行わ

れ、主に日本の銀と銅は、朝鮮の人参や中国産白糸と交換された。朝鮮半島の釜山には日本の使節を応接するために が設けられ、 の者が滞在し外交や通商を行った。また、日本には、主に將軍の代替わりを慶賀する目的で朝鮮通信使が派遣された。

19世紀半ばに入ると、西欧勢力の脅威により、東アジアの国際情勢が大きく変化した。日本では黒船来航以降、開国政策へと転換したが、朝鮮では鎖国(攘夷)政策を維持した。攘夷政策をけん引した代表的な人物が朝鮮の26代国王高宗の摂政の であった。

明治維新以降、日本は朝鮮に開国をせまり、1875年に江華島事件を引き起こした。その結果として、1876年に不平等条約である日朝修好条規が締結され、朝鮮の3港が開港された。⁽²⁾これに対して、清は朝鮮への介入を強化し、日本と対立した。朝鮮国内でも攘夷派と改革派の対立に加えて、改革派も日本に接近して近代化を進めようとした らの急進改革派と清に近い勢力とが対立を深めていった。

1894年に東学農民軍の蜂起(甲午農民戦争)が起ると、朝鮮政府はこれを鎮圧するために清に派兵を要請した。それに対し、日本は居留民保護を理由にして朝鮮に出兵し、朝鮮王宮への攻撃と豊島沖での海戦を契機に日清戦争が始まった。日清戦争に敗北した清は日本と下関条約を結び、朝鮮からの撤退を余儀なくされた。⁽³⁾朝鮮王朝はその後、独立国であることを示すために国号を大韓帝国と改めた。しかし、日本は、義和団事件以後、ロシアと朝鮮の支配権をめぐる争い、日露戦争が勃発した。日本は軍事力を背景に、大韓帝国と数次にわたって日韓協約を結び、大韓帝国を保護国化して1906年に⁽⁴⁾ を設置した。これに対して、朝鮮半島では、武力で日本の侵略に抵抗する義兵闘争が広がったが、日本はこれを軍事力で制圧し、1910年に日本は韓国を併合した。その後、朝鮮統治の中核機関となる を設置し、植民地政策を推し進めた。

1910年代、朝鮮では憲兵警察制度を基盤とした威力による統治を意味する 政治が行われ、朝鮮社会には反発と不満が蓄積していった。1918年にアメリカのウィルソン大統領が発表した講和の原則である「十四カ条」のなかで民

世界史

族自決が掲げられたことや、ロシア革命の影響を受けた朝鮮では再び民族運動が活性化した。1919年3月1日には独立宣言書が発表され、独立運動が全国に広まった。この民族運動を契機に日本は 政治を緩和し、新聞・結社の統制を緩和するなど 政治に転換したとされるが、威力を背景に支配する手法は基本的に継続していった。

問1 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| a 阿含経 | b 木活字 | c 契丹文字 |
| d 金属活字 | e 訓民正音 | f 三別抄の乱 |
| g 女真文字 | h 壬午軍乱 | i 壬辰・丁酉倭乱 |
| j 西夏文字 | k 大蔵経 | l 蕩平 |
| m 膠泥活字 | n 般若心経 | o 武断 |
| p 文化 | q 法華経 | r 民主 |

問2 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|------------|---------|
| a 応永の外寇 | b (韓国)統監府 | c 元寇 |
| d 薩摩 | e 大韓民国臨時政府 | f 朝鮮総督府 |
| g 対馬 | h 出島 | i 唐人屋敷 |
| j 都護府 | k 松前 | l 琉球 |
| m 倭寇 | n 倭館 | o 倭城 |

問3 空欄 ～ にもっとも適する語句を解答欄に記述せよ。ただし、語句はすべて漢字で記述すること。

問4 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| a 安重根 | b 金玉均 | c 全琫準 |
| d 大院君 | e 閔妃 | f 李鴻章 |

問5 下線部(1)に関連して、この時期の朝鮮半島における国々に関する説明として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 高句麗は、313年に楽浪郡を滅ぼした。
- イ 新羅は、弁韓が朝鮮半島の東南部を統一して建てた国である。
- ウ 百済は、4世紀半ばに加耶(羅)に滅ぼされた。
- エ 加耶(羅)は、辰韓が朝鮮半島の東南部を統一して建てた国である。

問6 下線部(2)にある開港に関連して、開港地の組み合わせとして正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて誤っている場合はオを選べ。

- | | |
|--------------|--------------|
| ア 釜山, 木浦, 漢城 | イ 元山, 仁川, 釜山 |
| ウ 浦項, 元山, 馬山 | エ 漢城, 浦項, 仁川 |
| オ すべて誤っている。 | |

世界史

問7 下線部(3)に関連して、下関条約の説明として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 下関条約で日本は、鉄道敷設の権利を清に認めさせた。
- イ 下関条約で日本は、鉱山採掘の権利を清に認めさせた。
- ウ 下関条約で日本は、科挙の廃止を清に認めさせた。
- エ 下関条約で日本は、開港場での外国企業による工場経営を清に認めさせた。

問8 下線部(4)に関連して、韓国併合にいたるまでの条約の説明として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ポーツマス条約で日本は、韓国に対する管理措置を清に認めさせた。
- イ 第1次日韓協約で日本は、韓国内政権をすべて剥奪した。
- ウ 第2次日韓協約で日本は、韓国外交権を奪った。
- エ 第3次日韓協約で日本は、韓国に財務顧問を配置し、日本の貨幣流通を開始した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ラテンアメリカでは古くから独自の諸文明が栄えていたが、大交易時代以降、ヨーロッパ諸国の植民地とされるなかでこれらの文明は破壊され、ヨーロッパ人の入植にともない様々な動植物・病原菌や、黒人奴隷、キリスト教などがもたらされた。その一方で、同時期にラテンアメリカからもヨーロッパに様々な農作物⁽¹⁾がもたらされ、ヨーロッパ社会に大きな影響をおよぼした。この16世紀に本格化した世界の一体化は、「大西洋世界」をつくりだすとともに、大西洋をはさんだ垂直的な分業体制を確立したとされる。工業化に先んじた「中核」である西ヨーロッパに対し、「周辺」に組み込まれたラテンアメリカは原料や食料生産に特化し、自立した発展が困難となる低開発の状態に置かれた。

コロンブス以降にラテンアメリカに進出したスペイン人の征服者たちは武力によってメキシコやペルーなどを征服し先住民の財宝を略奪したが、その後、あ 制により王室の認可を受けてスペイン人入植者として土地と先住民の支配を委託された。この制度は先住民のキリスト教化と保護が条件とされたが、実際には先住民は酷使され、さらに現在の A に位置するポトシなどで銀山⁽²⁾が発見されると、採掘の強制労働にも用いられるようになった。17世紀になると過酷な支配や疫病により先住民が激減したことから、王室は委託制度を廃止し、⁽³⁾い 制により入植者に土地を与えて農業開発を進めるようになった。また、その労働力としてアフリカから黒人奴隷を輸入するようになった。一方、ポルトガルは B でサトウキビ栽培の奴隷制プランテーションを展開し、他のヨーロッパ諸国もアメリカ大陸各地やカリブ海の島々に奴隷制プランテーションを建設していった。これらラテンアメリカの植民地社会では、本国生まれのヨーロッパ人であるペニンスラールと植民地生まれの白人である う が、被支配層としての白人と先住民の混血である え ，白人と黒人の混血である お ，そして黒人奴隷・先住民を支配するという階層構造が形成された。

アメリカ独立革命とフランス革命の影響を受けて、18世紀末からラテンアメリカでは独立運動がおこった。まずカリブ海のフランス植民地 (I) でフラン

世界史

ス革命中に黒人奴隷たちが、 を指導者として蜂起した。 は世界初の黒人国家である として1804年に独立を宣言した。一方で、大陸部の独立運動の担い手は支配層ではあるが本国からは抑圧されていた であった。1819年に の指導で大コロンビアが独立し、 の活躍などによって1816年にアルゼンチン、1818年にチリ、1821年にペルーが独立を果たした。これらの国は奴隷制を廃止したが、大土地所有制が存続し単一作物の生産と輸出に依存する 経済が進行した。これらのラテンアメリカの独立の背景には、アメリカ合衆国による南北アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉をとなえるモンロー宣言や、ラテンアメリカ市場拡大をねらうイギリスの外相 による運動の容認があった。独立後のラテンアメリカ諸国はイギリスの の最大の市場となり、現地経済は貴金属の産出や農産物の生産に特化されていった。

19世紀末になるとアメリカ合衆国は内陸のフロンティア消滅に伴い、カリブ海を中心にラテンアメリカ諸国へ勢力拡大を目指すようになった。マッキンリー大統領は1902年のキューバ独立に際して、財政・外交を制限する をキューバ憲法に組み込むことで保護国化した。また、セオドア＝ローズヴェルト大統領は を展開して1903年にパナマをコロンビアから分離独立させ、1914年にはパナマ運河が開通した。ウィルソン大統領は民主主義の伝播を軸とした を展開しつつ、ハイチとドミニカの軍事占領、1914年のメキシコ軍事介入、などラテンアメリカの軍事拠点化をすすめた。第二次大戦後も、植民地期の社会階層や格差が存続するラテンアメリカ諸国では不安定な政治が続き、冷戦下でアメリカ合衆国の強い影響下におかれる一方、1960年代以降の軍事政権による開発独裁、⁽⁴⁾1980年代の民政移管、1990年代の新自由主義経済の導入、21世紀以降の左派政権の誕生など、度重なる変化の中におかれている。

問1 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|----------|--------|
| a アルゼンチン | b エクアドル | c 毛織物 |
| d ドミニカ共和国 | e ハイチ共和国 | f ブラジル |
| g ブロック | h ベネズエラ | i ペルー |
| j ボリビア | k メキシコ | l 綿製品 |
| m モノカルチャー | n 輸入代替 | o 羊毛製品 |

問2 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------------|------------|
| a アメリゴ＝ヴェスプッチ | b コルテス |
| c サン＝サルバドル | d サン＝ドマング |
| e サン＝マルティン | f シモン＝ボリバル |
| g トゥサン＝ルヴェルチュール | h トゥパク＝アマル |
| i バルトロメウ＝ディアス | j ピサロ |
| k フランシスコ＝ミランダ | l ホセ＝マルティ |

問3 空欄 ～ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|------------|
| a ウェリントン | b カニング |
| c 棍棒外交 | d 宣教師外交 |
| e 善隣外交 | f トラテロルコ条約 |
| g ハバナ宣言 | h パーマーストン |
| i パン・アメリカ会議 | j 不戦条約 |
| k プラット条項 | l 米州機構 |

世界史

問4 空欄 ～ にもっとも適した語句を解答欄に記述せよ。

問5 下線部(1)に関して、次のア～オのうち、同時期にアメリカ大陸からヨーロッパにもたらされた産品でないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 胡椒 イ ジャガイモ ウ タバコ
エ トウモロコシ オ 落花生

問6 下線部(2)に関して、大交易時代にはアメリカ大陸から大量の銀が世界に流出した。それに関して、この時期の社会変容に関連する次のア～エの文章うち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア アントウェルペンが貿易の中心地として栄えた。
イ 西欧では、物価が大幅に上昇し、貨幣経済が浸透したことで封建社会の崩壊が促進された。
ウ 東欧では、貨幣地代の普及により農民の賦役労働が軽減された農場領主制が広まった。
エ マニラはスペイン船がもたらすメキシコ銀と中国からの絹などの中継交易によって繁栄した。
オ すべて正しい。

問7 下線部(3)に関して、次のア～オのうち、暴力的な侵略を批判し、国王に『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を出したドミニコ会修道士の名称として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|-----------|
| ア アダム＝シャル | イ イダルゴ |
| ウ トマス＝アクィナス | エ マテオ＝リッチ |
| オ ラス＝カサス | |

問8 下線部(4)に関して、次のア～オの文章のうち、1960年代のラテンアメリカに関連する内容のものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア グアテマラで民族主義的なアルベンス政権が成立し、土地改革やアメリカ資本の接収をおこなった。
- イ アメリカはラテンアメリカ諸国との協力・団結を目指す「進歩のための同盟」を提唱した。
- ウ アルゼンチンでは、ペロン政権が反米的な民族主義を掲げて社会改革をおこなった。
- エ チリではアジェンデ政権に対し、ピノチェトが軍事クーデタをおこし、軍事独裁政治がおこなわれた。
- オ エクアドルでは軍部が親米政権をクーデタで打倒し、6年後に民政移管がおこなわれた。